

発言No. 7

受付No. 19

令和4年6月7日

10時57分 受付

一般質問発言通告書

議席番号 12番 氏名 上野 茂

答弁を求める者 市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長  
(○をつける) 農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 中山間地域の活性化について

(1) 年々増え続ける空き家・耕作放棄地の活用について

① 空き家調査事業が、平成26年調査実施され9年ぶりに、今年度より3年間の調査計画で実施される、調査後の対策について伺う。

② 2022年産、米作付け面積3,5万ヘクタール減、一層の転換必要との記事、これ以上耕作放棄地を増やさない対策について伺う。

(2) 自然環境を守り活かす対策について

① 森林の働きに、土砂災害防止土壌保全、山が崩れるのを防ぐなど、人の暮らしに役立つものであったが、以前と違う伐採方法により危険箇所が増えているのではないかと思うが、市の考えを伺う。

② 棚田保全活動事業・・・中山間地域では、規模が小さく「棚田」を維持していくには、平地の何倍もの動力が必要です。高齢化が進み、維持管理すら難しくなっている。棚田百選に選ばれた、美しい棚田を見に来られる方の為に手入れも欠かせません。今後の市の考えを伺う。

③ 地球温暖化を防ぐための対策をどこよりも強く取り組む必要があるのではないか、市の考えを伺う。

④ 地産地消について・・・小麦・大豆など外国産が高騰している、以前から地元の小麦で作ったパン、地元の大豆で作った豆腐など外国産と比べると少し高く、その差額を市が補っている今治市、地産地消による農産物の消費は、地域の農家を応援することになり、地域全体の活性化にもつながると思う。市の考えを伺う。



発言No. 8

受付No. 13

令和 4 年 6 月 7 日  
10 時 3 分 受付

## 一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 6 番

氏名 足立 豪

答弁を求める者  
(○をつける)

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長  
 農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

### 1 プレミアム付「はまだ応援チケット」について

物価上昇等に伴う市民の皆様への経済支援および新型コロナウイルス感染症により疲弊した地域企業を応援するため、幅広い業種で使える応援チケットが令和4年5月28日(土)より販売された。

このことについて、現時点の状況を伺う。

#### (1) 販売目的について

①この度の販売目的は、市民への経済支援が優先されるのか、地域企業の応援が優先されるのか、最大の目的について伺う。

#### (2) 成果と今後の課題の検証方法について

①具体的な成果をどのように考えているか伺う。  
②今後の課題の検証方法についてどのように考えているか伺う。

### 2 固定資産課税税率について

地方自治体の基幹税の一つである固定資産税は、浜田市の令和4年度当初予算でみると市税約73億のうち約39億であり、53%を占める最も重要な歳入である。

しかしながら、浜田市の固定資産課税税率は1.5%であり、国が定めた標準課税税率1.4%より0.1%高い状況である。これを踏まえ、以下のとおり伺う。

#### (1) 固定資産課税税率の推移と状況について

①浜田市の固定資産課税税率は現在1.5%であるが、いつからこの税率になったのか伺う。

- ②これまで、固定資産における標準課税税率を上回る徴収をした金額の総額を伺う。
- ③上回る金額を徴収し、どのように地域に活用されたのか伺う。

(2) 課税税率の見直しについて

- ①浜田市の高齢化率 37.76% (R4.5月末) と、今後の加速度的な人口減少の中で課税税率の見直しについて伺う。

3 浜田市の介護の現状について

浜田市の高齢者の方々がこれまでと同様に安心して住むことができるよう、この地域の保険者である浜田地区広域行政組合では「住みなれた地域で自分らしく暮らしていくことができる圏域」を目指すべき姿として設定された、第8期介護保険事業計画を浜田市として実行するための具体的内容について伺う。

(1) 浜田圏域外への介護報酬流出について

- ①毎月 7,000 万円～7,500 万円、年間に換算すると、8～9 億円のこの地域の介護保険料が流出している現状についてどのように受け止めているのか伺う。

(2) 介護医療院について

- ①平成 30 年 4 月に創設された「介護医療院」は、長期的な医療と介護のニーズを併せ持つ高齢者を対象とし、「日常的な医学管理」や「看取りやターミナルケア」等の医療機能と「生活施設」としての機能とを兼ね備えた施設であるが、整備状況について伺う。
- ②この地域で人生の最後まで過ごせる環境整備について伺う。

発言No. 9

受付No. 14

令和4年6月7日

10時 4分 受付

## 一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 16 番

氏名 芦谷 英夫

答弁を求める者

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

(○をつける)

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1、歴史をいかしたまちづくりの推進について

- ① 浜田市にある歴史関係の古文書、歴史史料など、市が郷土資料館、図書館などで保存しているこれらの史料などについて、どの程度、整理が進み、目録化、調査や報告が行われ、市民への公開などが進んでいるのか、全体の状況とその後の進捗状況はどうか。
- ② 郷土資料館の見学会が実施されるが、現在の郷土資料館を見学するだけで十分か。市全体の歴史史料の状況の説明、郷土資料館整備後にはどのように公開するのかなど、これからを見通した市の考え方を前面に出した見学会とすることが必要ではないか。

2、協働のまちづくり推進に向けた態勢づくりについて

- ① まちづくり推進委員会と連合自治会、自治会とを統合する動きが広がっているが、どのような状況にあるのか、市としてどのように掌握しているのか。
- ② 地域の自治活動、協働のまちづくりで最も重要な住民の安全安心づくりである防災訓練について、市全体でどの程度の参加があったのか、その組織数、全体に対する割合などはどうか。

3、専修学校などへの支援態勢について

- ① リハビリテーションカレッジ、看護学校などに対し、運営費補助、修学資金貸与制度などにより支援が行われているが、学校側と協力してこれからの学生数増加に向け、市でなければできないような、支援態勢をつくる必要があるのではないか。
- ② 松江市では、専修学校5校に対し、総額1000万円余の運営補助により支援しているが、リハビリテーションカレッジ、看護学校などに比べ、浜田市にあるビューティーカレッジへの支援はどうするのか。

#### 4、学校給食の公会計化の推進状況について

- ① すべての行政経費は予算に計上するという「総計予算主義」の大原則から、学校給食費の公会計化は避けて通れない問題であると、教育委員会は認識しているが、その後、現状どのような準備状況、検討状況になっているのか。
- ② 教職員の業務負担の軽減、保護者の利便性の向上に加えて、学校給食費の徴収・管理業務の効率化を進める観点からも公会計化は必要であるが、どのように認識しているのか。

#### 5、職員力を発揮させる執行体制の確立について

- ① 近年、若年退職者が増えているが、この原因をどのようにとらえているのか。それに対して、どのような働きやすい魅力ある職場づくりを進めているのか。
- ② かつてのシングルペアレント事業など、職員発の新規事業の提案など、職員力の高さがあったが、この先、職員の政策立案力を高める、職員の政策立案への参画などどう進める考えか。

発言No. 10

受付No. 6

令和 4年 6月 6日  
16時 04分 受付

## 一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 20 番 氏名 西 田 清 久

答弁を求める者  市長  教育長  監査委員  選挙管理委員会委員長  
(○をつける)  農業委員会会長  固定資産評価審査委員会委員長  公平委員会委員長

### 発言項目及び要旨

#### 1 今年度、市内各地で予定される夏・秋の大型イベントの考え方について

- ① 新型コロナウイルス感染拡大の影響によって、過去2年間、ほとんどの地域行事が中止となっている。新型コロナウイルスは完全終息しないものの、ワクチン接種の方も一定に進んでおり、対策を講じて開催に前向きな市民も増えつつあると感じる。  
市長の現時点での考え、想いについて問う。

#### 2 「地域の日」について

- ① 市長の地域に対する前向きな思いを感じるが、「地域の日」を設定された本来の目的について問う。
- ② 第1回目の開催テーマ「若者対策」～若者が暮らしたいまちづくりについて～ですが、若者の想いや意見をどのように受け止め、政策に反映させようとされるのかイメージについて問う。
- ③ 第2回目のテーマ「(仮) 中山間地域の課題 (公共交通、担い手確保など)」については、令和3年9月までに議会の「中山間地域振興特別委員会」から提言1～4が出され、進捗状況も報告されているが、この事との整合性について問う。

#### 3 歴史資料の保存について

- ① 浜田市の歴史資料の保存の仕方や展示の仕方が議論されてきたが、大事なことは、まず先にデジタル化をし、(仮)「はまだデジタルミュージアム」を開設することだと思うが、市長の所見を問う。





発言No. 11

受付No. 16

令和4年6月7日

10時32分 受付

一般質問発言通告書

議席番号 4 番

氏名 三浦大紀

答弁を求める者

(○をつける)

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1、部活動の現状とこれからについて

市内中学校における部活動は、人口減少（部員減少）に伴い多くの課題を抱え、厳しい運営状況に置かれている。国においては、教員の働き方改革を踏まえた部活動改革が進められており、今後、段階的に地域のスポーツクラブなどに任せる構想が示されようとしている。それらを踏まえ、当市の考え方等について以下質問する。

(1) 部活動の位置付けについて

①その考え方はどのようなものか。

(2) 部活動の現状について

①部活動の偏在による進学への影響をどう捉えているか。

②地域指導者の配置状況をどう捉えているか。

③市内で実践研究されている地域運動部活動推進事業（県事業）の状況をどう捉えているか。

(3) 国の動向を踏まえた市の今後の対応について

①その考え方はどのようなものか。

